



第 4 回常願寺川マラソン・ジョギング大会参加者募集

2月号でもお知らせしましたが、3月31日(日)にマラソン・
ジョギング大会を開催します。

初心者・初級者」の人も腕試しにどうぞ。 おじいちゃんもお孫さんと
一緒に参加してみても。 **走ったあとはあったかい豚汁が出ます。**

種 目： ● 5kmの部 (男・女) ● 10kmの部 (男・女)

※両部とも午前9時30分同時スタート。

順位表彰はしません。各自ゴール地点に設置した
大型掲示時計にて確認していただきます。

参加費：中学生以上 800円、小学生以下 500円 (完走証・傷害保険・
ドリンク・参加賞代として) 当日払い可

会 場： 立山町 『常願寺川公園』内の堤防道路 (車両通行禁止エリア)

受 付： 午前8時30分～9時20分 常願寺川公園中央駐車場公園事務所横

申 込： 3月27日までにFAXで FAX：076-422-2852

主 催： 新日本スポーツ連盟富山県連盟、主管：雷鳥ランニングクラブ

問合せ： 青山光夫さんへ 携帯番号090-4683-9486

※ **運営ボランティアの方を募集しています。** 手伝ってもらえる人があれば助
かります。(各クラブにおられる県連理事に連絡ください。)

第4回常願寺川マラソン・ジョギング大会参加申込書

氏名		男 女	年令	才(大会当日)
住所	〒		種 目	k m
連絡先電話		所 属		
よろしければeメールアドレスを				

古代ギリシャ4大競技場を巡る

ギリシャ旅行

(6) スポーツ連盟とやま 林 憲彦

ギリシャ5日目 (6/27) は一路、古代デルフィへ向けての移動日

午前中はデルフィへ向かう、オリンピアを出てしばらくは山岳地帯の道路を走っていたようだ(途中私は居眠り)、時々目を開けて現在位置を確認したりして暫く進む。

以前から調べてあった、「Rio」と「Andirio」を結ぶ大橋。(右の写真)

(Google の位置は 38.319707,21.773357)

ここはアテネオリンピックの前に完成するはずだったが、工事を担当する日本人の長期ビザを認めてくれず3ヶ月毎に更新しなければならないので、結局オリンピック開催に間に合わなかったということでした。(GPSポイント記録済み)

ホテルへ入る前にアテネ空港で「ロストバゲージ」だったAさんのスーツケースがようやく届

く。

ホテルにはプールがあるということなので、O先生には「浸かっている」と言われたが、勇気を出して行って来る。



ギリシャ6日目 (6/28) は「古代デルフィ」へ



「古代デルフィ」では、「アポロン神殿」「世界のへそ」「アテネ人の宝庫」「古代劇場」「スタジアム」や「体育訓練所」を見学

デルフィーも他のポリスと同様に立派な神殿とともに、劇場・スタジアムがありました。残念でしたがスタジアムは立入禁止で、走ってみることはできませんでした。

スタジアムで走って見たかったが、ここは入場できませんでした。

ここまでの旅で少し判ったことですが、神託とは「神のお告げ」で古来、戦

や政治また様々な悩み事について多くの人が神託を求めやってきて、あたると、いろいろな宝物を寄進したようで、洋の東西を問わず同じ事が行われていたようです。(デルフィーの神殿の位置

38.48231,22.50127)



この見どころはアテネの宝庫と地球の「へそ」といわれる石でした。

パークゴルフシーズン到来！

3月に入ると地上に注ぐ太陽光も強まってきて、暖かい日が多くなってきます。もう、春まじか。身体がムズムズして、コタツでテレビの番をしているのがもったいないですね。濡れた地面の乾きも早くなっています。

4月から各地のパークゴルフ場がオープンされます。スポーツ連盟の加盟員仲間で作るパークゴルフのサークルも4月から活動を始めます。

活動予定日をお知らせします。誰でも飛び込み参加できます。

パークゴルフサークルの活動予定

日(曜日)	時間	場所
4月 6日(土)	PM1:00~	富山市友杉の『とやま健康パーク』で
4月16日(火)	PM1:00~	富山市友杉の『とやま健康パーク』で

里山歩きの楽しみ

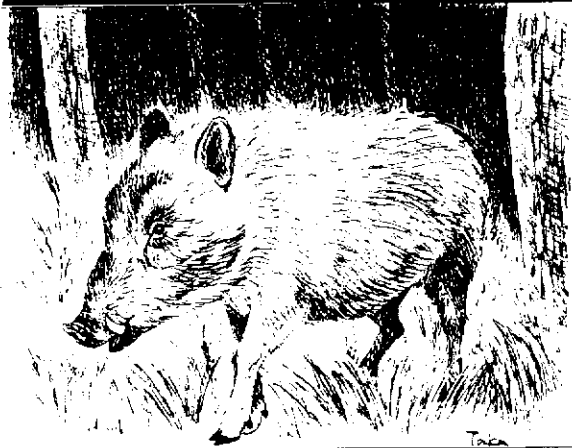
荒井 英治

2月も終わってこのあと20センチ、30センチの積雪はあるのでしょうか。去年の夏ころから、毎朝の散歩に家の近くの里山を歩くようになりました。私の家は小杉ICから北東に500mほどのところにあり、南方には射水丘陵が広がっています。今ではそのほとんどがゴルフ場になっていて雑木林はわずかしか残されていないのですが、それでも2時間くらいの散歩には十分な広さです。夏は未明の4時ごろから歩き出して太陽が照り付ける7時前には戻ってきます。50年前の少年のころは祖父と山仕事やキノコ狩り、ワラビ採りなどでよく山中をうろつき廻っていました。60歳を過ぎて、残ったわずかばかり所有林を手入れしようかと、その下見も兼ねての里山歩きでしたが、昔は気づかなかったことや新たな発見がいろいろあって、飽きることはありません。そのひとつがカモシカやイノシシの足跡や小鳥たち姿です。冬季は里山歩きには最高のシーズンで、下草や笹などの障害物は全て雪の下になって、広葉樹は葉を落としていて明るいのです。降り積もった雪に残された足跡を辿って歩いていると、ウサギとかカモシカやイノシシの姿を想像して、人以外の同胞がここにも居ると思えば楽しくなります。

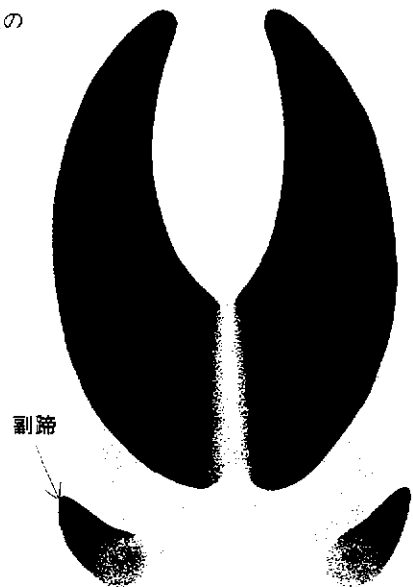
新聞とかテレビとかで地元の山に毎日登っている人とか、同じ山に〇百回登った人とかが紹介されていた時、「なんて俗な。ノルマで山に登るか？そんなことして楽しいのか？」と思ったものでした。多分その人も楽しく

ってしょうがないから飽きもせずそれを繰り返していたのかと気がついた次第。これから色々勉強してマタギのような観察力、想像力を身につけていきたいなと思います。皆さんも雪の積もった朝、近くの田圃や野原や空き地を歩いてみませんか。

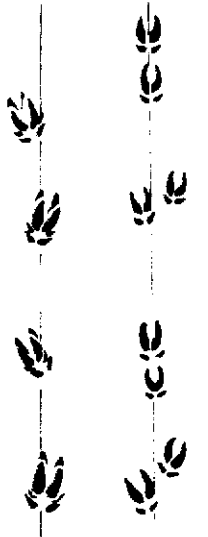
イノシシ



イノシシの雄の
成獣の足痕



イノシシ分布図



歩行

走行



新版
アニマルトラック
ハンドブック

野山で見つけよう動物の足跡
今泉忠明

